

修学旅行 充実した3日間でした

小学部修学旅行 5月16日(水)～18日(金)



(ウラジーミル ウスペンスキー大聖堂)

小学部の5年生と6年生はウラジーミル・スーズダリを訪ねました。世界遺産の見学だけでなく、実際にロシア文化を体験することを通して、正にロシアの自然や歴史、文化にふれることができた3日間でした。「あつという間だったあ」。修学旅行から帰った子どもたちの最初の一言です。この言葉が、子どもたちにとってワクワク・ドキドキの充実した3日間だったことを物語っています。親元を離れて過ごす二泊三日。多少の不安はあったでしょうが、どの子もかけがえのない時間を過ごし、自分から進んで活動することの意味と仲間と共に学ぶことの大切さを学んで帰ってきました。



思い思いに、
プリャーニク
の絵付けを楽し
みました。

白樺の樹皮を使った小物作りに挑戦
しました。



(スーズダリ 木造野外博物館)



買い物
も楽し
い体験
です。



中学部修学旅行 5月23日(水)~25日(金)



夏のような日差しの下、サン
スーシー宮殿庭園を見学



ブランデンブルク門。ナポレオンも
ヒトラーも、この門をくぐった。

一日を振り返って



中学部はドイツ・ベルリンを訪ねました。生徒たちは、ロシアとドイツの関係、戦争の悲劇や各国のリーダー、歴史的建造物、食文化など、それぞれにテーマを決めて事前学習し、問題意識をもって修学旅行に出かけました。そして、実際に現地を訪れ、それぞれの学びを深めました。夏本番を思わせる暑さにも負けず、熱心に説明に聞き入りメモを取る姿が印象に残った3日間でした。



食事は修学旅行の楽しみの一つです。
料理はほぼ完食でした。



海外学校説明会・相談会 5月21日(月)

◆公益財団法人海外子女教育振興財団主催の「帰国生のための海外学校説明会・相談会」が本校を会場に開催されました。日本国内13校の説明を聞くことができるということもあり、たくさんの保護者の皆さんが参加されました。生徒(後半からは小学部5・6年も参加)たちも熱心に耳を傾けていました。自分の進路について考える絶好の機会になりました。

ロシアにおける日本年2018

日本武道文化セミナー 5月28日(月)

「ロシアにおける日本年2018」事業の一環として、日本武道文化セミナーが本校で開催されました。当日は、日本武道館臼井理事長をはじめ25名の方が来校し、400年以上前から伝わる古武道の演武を披露してくださいました。子どもたちは、その気迫あふれる演武に目を丸くしていました。また、各学年の代表が甲冑を実際に着用させてもらいました。我が国の歴史と伝統文化にふれることができました。



理科学教室 5月29日(火)

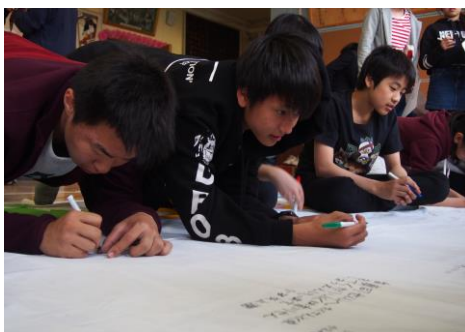
◆在ロシア日本国大使館田島公使のご臨席の下、大使館とモスクワ・ジャパクラブの共催による理科学教室が大使館で行われました。当日は、日本人学校中学部33名とロシア第1223学校中学部40名が参加し、8つの合同チームに分かれて、クイズを一緒に考えたり協力してゲームに挑戦したりしながら電子顕微鏡のナノ世界を楽しみました。

◆後半は、エルミタージュ美術館、科学技術的検査部の研究員の方から「絵画の内部構造を見よう！」と題した講演をお聞きしました。美術品の修復に電子顕微鏡が駆使されていることを知り、興味の幅を広げました。日本では理科系学生が減っているといえます。世界の共通語である科学に興味をもち、理科学を志す子どもが一人でもでてきてくれることを期待しています。



がんばれ日本！！

◆W杯・ロシア大会に参加する日本代表チームにエールを送ろうと、全校の子どもたちが思い思いのメッセージを横断幕に気持ちを込めて記しました。14日(木)には、子ども



たちの代表の生徒19名が保護者の皆さんと日本代表チームのキャンプ地カザンを訪れ、「がんばれ日本」の横断幕と一緒に全校の子どもたち一人一人の熱い思いを届けます。当日は、公開練習の前に選手と出会いの場も設けられています。きっと、代表の生徒たちは、憧れの選手との感動の出会いを語ってくれることでしょう。